

第3回防災訓練 実施

2月12日(水) 冬季は火気を使用することが多くなることから、昼休みの時間帯に校舎で火災が発生したという想定で本校の大体育館を避難場所に設定し、避難訓練が実施されました。

教職員が教室にいない時間帯ということで、これまでのように教職員に誘導され避難をするのではなく、防災委員を中心として生徒自身が考えて行動し、各自で避難場所へ向かうという形で行われました。生徒達は、落ち着いて避難場所である大体育館を目指し避難をしました。

なお、避難行動中の事故防止のため避難経路には教職員を複数配置しました。



自販機前を通過して避難する様子



大体育館への避難の様子



大体育館に避難後、整列しました



校長先生からの講評

最後に校長先生から「災害はいつ起こるか分からない。災害を起こさないためには、原因を断つことが大切であるが、災害が起きたら被害を受けないようにする、または被害を最小限に抑えることが大切である。避難訓練を行うのは、そうした考え方・行動を身に付けてもらうためでもある。皆さんが安全で安心した学校生活を送るために、訓練を糧として防災意識を持ってもらいたい」と講評をいただきました。